

## 5.6 水循環

### 5.6.1 工事の施行中

#### (1) 調査事項

調査事項は、表 5.6-1 に示すとおりである。

表 5.6-1 調査事項（工事の施行中）

区分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"><li>掘削工事及びそれに伴う山留め壁の設置による地下水の水位、流況の変化の程度</li></ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>施工状況（施工内容、山留め壁の位置、深さ等）</li><li>地下水の状況（地下水位）</li></ul>
環境保全対策の実施状況	<ul style="list-style-type: none"><li>工事に際しては、掘削深度の深い区域の周囲を遮水性の高い山留め壁（SMW）で囲み、かつその先端を難透水層に到達する GL 約-30m まで根入れして、各帯水層からの地下水の湧出を抑制するとともに、山留め下側から回り込む地下水の流入を防ぐ計画である。なお、山留め壁の詳細な根入れ深さは、工事開始前に実施する地盤調査の結果を考慮の上、決定する。</li><li>小平市と協議の上、「小平市開発事業条例」に基づき雨水浸透施設等を設ける。</li><li>工事に先立ち観測井を設置し、工事の施行中における主要帯水層の地下水位の変動を把握するとともに、地盤面の変位を定期的に測量し、異常があった場合には適切に対処する。</li></ul>

#### (2) 調査地域

調査地域は、計画地内とする。

### (3) 調査手法

調査手法は、表 5.6-2 に示すとおりである。

表 5.6-2 調査手法（工事の施行中）

調査事項		掘削工事及びそれに伴う山留め壁の設置による地下水の水位、流況の変化の程度
調査時点		掘削工事が実施される時点
調査期間	予測した事項	掘削工事が実施される期間とする。
	予測条件の状況	「予測した事項」と同一期間とする。
	環境保全対策の実施状況	「予測した事項」と同一期間とする。
調査地点	予測した事項	計画地内とする
	予測条件の状況	【施工状況】 計画地内とする。
		【地下水の状況】 計画地内3地点とする。(図 5.5-1 参照)
環境保全対策の実施状況	計画地及びその周辺とする。	
調査手法	予測した事項	関係資料の整理による。
	予測条件の状況	【施工状況】 関係資料の整理による。
		【地下水の状況】 自動水位計による。
環境保全対策の実施状況	関係資料の整理による。	

## 5.6.2 工事の完了後

### (1) 調査事項

調査事項は、表 5.6-3 に示すとおりである。

表 5.6-3 調査事項（工事の完了後）

区分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地下構造物等の存在に伴う地下水の水位、流況の変化の程度</li><li>・ 地表構造物の設置に伴う表面流出量の変化の程度</li></ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地下構造物等の設置状況</li><li>・ 土地利用計画の状況（建築物の位置、雨水流出抑制施設等）</li><li>・ 地下水の状況（地下水位）</li></ul>
環境保全対策の実施状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 計画地内の緑化に努め、地下水へのかん養を図る。</li><li>・ 新施設における揚水量は、既存施設より少ない100m<sup>3</sup>/日程度を計画する。</li><li>・ 計画建築物の地下躯体工事完了後から一定の期間中、観測井を設置し地下水位の測定を行う。</li></ul>

注 1) 地表構造物の設置に伴う表面流出量の変化の程度については、(仮称) 不燃・粗大ごみ処理施設も踏まえて調査を実施する。

### (2) 調査地域

調査地域は、計画地内とする。

### (3) 調査手法

調査手法は、表 5.6-4 に示すとおりである。

表 5.6-4 調査手法（工事の完了後）

調査事項		地下構造物等の存在に伴う地下水の 水位、流況の変化の程度	地表構造物の設置に伴う表面流出量 の変化の程度
調査時点		施設の稼働が定常の状態に達した時点とする。	
調査期間	予測した事項	1年間とする。	
	予測条件の状況	「予測した事項」と同一期間とする。	
	環境保全対策の 実施状況	「予測した事項」と同一期間とする。	
調査地点	予測した事項	計画地内とする。	
	予測条件の状況	【地下構造物等の設置状況】 計画地内とする。	
		【土地利用計画の状況】 計画地内とする。	
		【地下水の状況】 計画地内3地点とする。（図 5.5-1 参照）	
環境保全対策の 実施状況	計画地内とする。		
調査手法	予測した事項	関係資料の整理による。	
	予測条件の状況	【地下構造物等の設置状況】 関係資料の整理による。	
		【土地利用計画の状況】 関係資料の整理による。	
		【地下水の状況】 自動水位計による。	
環境保全対策の 実施状況	関係資料の整理による。		